



埼玉県産業振興施策として “越谷バー・バル・パール”を開催!

埼玉県では、飲食店などを食べ歩き商店街の魅力を経験できるイベント「街バル」を基本コンセプトに、商店街の賑わい創出の契機とするための産業振興施策の一環として「埼玉アキナイBAR(バル)」を県内10地区で開催しています。

越谷市では「越谷バー・バル・パール」として昨年11月に第1回を開催し、私も友人と参加しました。

参加者は主に、友達同士のグループ、ご夫婦など。バルパスポートと案内マップを片手に、商店街を回遊する姿をたくさん見かけました。

参加店舗では、新規の顧客獲得に効果があったように見受けられます。



～楽しい食べ飲み歩き～

越谷駅前に特設されたチケット売り場(写真上)で、バーバルパスポート(写真右)2,100円(700円×3枚綴り)を事前購入して、食べ飲み歩きはスタートします。参加店舗の案内マップも配られますので、じっくりとお店を選ぶことができます。



↑昨年11月に行われた第1回のチラシ

2月にも開催!

第2回として、2月14日(金)・15日(土)の2日間、58店舗の飲食店等が参加して開催されます。

楽しいイベントに、参加されてみてはいかがでしょうか。

街バルとは…

街(まち)+バル(スペイン語のBAR)を意味する造語で、食べ歩き飲み歩きして様々な飲食店を楽しむ大規模なイベントです。



バル参加店では原則として、1枚のチケットで料理1品と1ドリンクが各1品提供されます。気になっていたけれど、なかなか入ることのできなかったお店、いつもの馴染みのお店のバル特別メニューなど、食べ飲み歩きイベントならではの楽しい出会いもあることでしょう。

元旦マラソン、初参加!

1月1日に開催された「第49回 越谷市元旦マラソン大会」に初めて出場しました。



完走証

第49回
越谷市元旦マラソン大会
あなたは本大会において
完走されましたので
これを証します

2014年1月1日

越谷市教育委員会教育長
吉田 茂
越谷市体育協会会長
中野 茂

完走証いただきました!↑

県立がんセンター新病院 1月6日、本格始動!

視察しました

埼玉県は、昭和50年に開設した「埼玉県立がんセンター」を、高度先進がん医療に対する医療機器を積極的に導入した新病院として、昨年12月30日にオープンしました。そして今年1月6日、外来診察の開始により本格始動しました。

新病院では、脳腫瘍や前立腺がんなどの治療に有効かつ放射線の

照射角度や強度を変えられる“強度変調放射線治療装置”を県内で初導入、3台の放射線治療装置を新たに設置しました。

手術室も旧病院の7室から12室に増えたほか、内視鏡カメラとロボットアームを組み合わせ3次元画像で確認しながら手術する装置“ダ・ヴィンチ”を新たに設置。日帰りで抗が



写真左は、県内で初めて導入された強度変調放射線治療装置。中央は内視鏡専用の手術室(3室)、モニターの画面が見易いように室

内はブルーで統一されています。右は一般手術室(9室)、長時間の手術のため目が疲れないように室内はグリーンに統一されています。



福祉保健医療委員会のメンバーや職員の方々。視察はオープン前の9月に行いました。

ん剤治療を受けられる“通院治療センター”も43床から60床に拡充されました。

新病院は、旧病院の隣接地に新設され、敷地面積は約8万平米。地上11階、地下1階建て、延べ床面積は約6万2,000平米。旧病院の400床から100床の増設、駐車場は約640台となりました。

埼玉県立がんセンター

埼玉県伊奈町小室780

電話:048-722-1111

子どものための「森のホスピタル」

「東京都立小児医療センター」を視察

東京都立小児医療センターのコンセプトは、子供達にとって身近な遊び場であった武蔵野の森をイメージした“森のホスピタル”です。

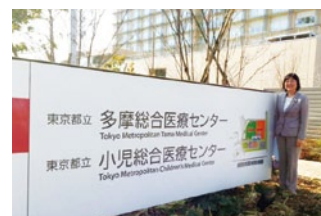
同じ建物の中に多摩総合医療センター(旧府中病院)があり、協働で「総合周産期母子医療センター」を運営しています(周産期とは、出産の前後の時期を意味します)。

また、小児期の疾患や治療に関わる問題を抱え続けて成人した人々に対して生涯にわたって必要な医療

を提供できるように、多摩総合医療センターや神経病院との連携を深めています。

埼玉県においても、さいたま新都心に埼玉県の小児医療の拠点となる県立小児医療センターを整備しており、そこに隣接して整備される「さいたま赤十字病院」との連携により

周産期医療と小児救急医療の充実を図ろうとしています。今回の視察でお伺いした取り組みは、今後の施策推進の参考になりました。



同じ建物の中に多摩総合医療センターがあり、胎児から大人までを考える小児医療が行われています。



コンセプトに合わせて、入り口には木々の絵が、また待合室には木を模した天井まで届く大きなオブジェがあります。

進んでいます、吉川橋の架け換え

吉川橋は、越谷市東町と吉川市平沼を結ぶ中川に架かる橋です。吉川市の玄関口とも言える歴史ある橋ですが、建設後80年が経ち、老朽化していました。

現在、地元の皆様や越谷市議会の要望活動が実り、車両が通行できる仮橋の工

事が進んでいます。私も県議会の一般質問で質問して参りましたので、大変嬉しく思います。今年秋から本橋工事が始まり、平成32年春に完成予定です。新橋は幅25m長さ202mの4車線になり、交通渋滞が緩和されます。

